

# 令和3年度 第6回岩村地域自治区運営協議会役員会

## 議事録

日時：令和3年12月21日（火）

午後7時30分から9時00分

場所：岩村コミュニティセンター大会議室

出席：委員11名／15名中

オブザーバー：服部市議

市：熊谷春彦（地域振興課）、

鷹見健司（教委生涯学習課）

事務局2名

欠席：佐々木繁典、加藤哲也、小栗廣泰、

松井宏次

- 
1. 会長あいさつ
  2. 服部市議あいさつ
  3. 議事
    - ①旧岩村振興事務所の活用について
    - ②地域のまちづくり補助金の選定について
  4. 連絡・報告事項
    - ①「岩村城跡」等の看板設置について（P14～P16）
    - ②岐阜県要望の結果について（P17）
    - ③太陽光発電所について（資料なし）
    - ④新型コロナウイルスワクチンの接種について（P18～P20）
    - ⑤令和3年度恵那市市民意識調査結果〈抜粋〉について（P21～P32）
    - ⑥2021ふるさと創生花火について（別紙チラシ）
    - ⑦全国山城サミット恵那大会について（別紙チラシ）
  5. その他
-

■ 会長あいさつ（西尾公男氏）

本日は旧振興事務所の活用について、昨年 8 月に岩村から市へ提出した提言書に対する説明がある。慎重審議をお願いしたい。

■ 服部市議あいさつ

- ・この会議前に富田のイルミネーションを見て、良い出来栄であった。25 日には花火が予定されており楽しみである。
- ・12/17 に市議会本会議が開催された。子育て給付金の補正予算が成立し、22 日に 10 万円が現金給付となる。また、低所得者の給付も行われる。また、ワクチン接種 3 回目の補正予算も成立し、2 月から 65 歳以上の接種が行われる予定。
- ・議場の改修工事が行われているが、3 月議会は改修された議場で開催されるので、議会を傍聴していただきたい。

■ 議題

◆ 旧岩村振興事務所の活用について

〈市・地域振興課より説明〉

- ・令和 2 年 8 月にいただいた提言書の回答が遅れたことを謝罪。
- ・市ではこれまで行財政改革に基づき行政機能の集約を行ってきた経緯があり、提言書にあります生涯学習センターを教育委員会で運営することは難しいと考えている。
- ・ただし折角の施設。旧振興事務所に対する地域の思いは理解している。
- ・活用については、地域が主体となって運営できる仕組みを作り、そこを市が応援する形でお願いしたいと考えている。
- ・一斎先生は全国にファンがある。地域の思いがあつてこそ、その支援も期待できる。

〈市・教委生涯学習課より説明〉

- ・旧振興事務所の一角を佐藤一斎記念館として整備したいと考えている。
- ・NPO 法人いわむら一斎塾が核となって地域で運営していけないか。
- ・旧振興事務所の改修・整備について地方創生交付金と企業版ふるさと納税を活用したいと考えている。
- ・記念館完成後の施設運営について、基金（ファンド）造成を行い、基金を財源とした運営ができればと考えている。

〈委員意見〉

- ・一斎記念館として施設全体を使うか。観光案内はどうなるのか。  
→一斎記念館としては施設が大きすぎる。地域の意見を聞きながら考えたい。
- ・佐藤一斎記念館が完成した後、他の空きスペースの活用などできなくなってしまうのではないか。
- ・岩村の先人は佐藤一斎だけでない。下田歌子や三好学など多くの偉人がいるので、佐藤一斎だけではいかがかと思う。  
→複数の先人では何の施設かがぼやけてしまう。

- ・いわむら一斎塾としては提言書の内容とは少し違うが佐藤一斎を取り上げてもらえることから複雑な気持ちである。地域の皆さんがこれで進めていくことに承諾し応援していただけるのであれば、いわむら一斎塾としては腹を決めて進めたいと考える。この施設は一斎塾だけでなく、岩村、恵那市の財産として盛り上げる必要がある。また、この施設は観光や子育てなど多目的に使えると思う。
- ・この記念館が完成した後、岩村振興事務所を戻せないか。現在の事務所は仮事務所と認識している。  
→戻る可能性はない。
- ・早く進めてほしい。中学校のように時間をかけないように、即決実行してほしい。
- ・一般の町民に情報を流すことが大事。情報を流してほしい。  
→生涯学習課と振興事務所で調整してお伝えするようにする。

<会長>

- ・市の考えに基づき、佐藤一斎記念館を核とした記念館として地域も努力して実現させたいと考えるが、そのような方向でよろしいか。

<結果>

全員賛成（拍手）

#### ◆地域のまちづくり補助金の選定について

##### ○地域単独事業の選考について

<事務局より説明>

- ・前回の会議後に申請団体の調整を行い、『体験プログラム「いわむら五っこ」提供事業』と『こども塾事業』の2事業を一つにした案を作成したが、この案でいかがか。ただし、この2つを一つにしたことで事業実施団体の自己資金額が増額となる点が課題である。

<委員意見>

- ・この案では「いわむら城下町 路地カラ事業」が単独申請となるが、資料だけでは事業内容や予算の内容がよくわからい点がある。この事業の代表者から直接説明を受けて判断する必要がある。
- ・城下町ホットいわむらについては『こども塾事業』の関係について、よく議論していただく必要がある。
- ・補助金申請の提出期限はいつか。  
→1月14日である。

<結果>

- ・1月のこの会議（1月11日開催）で「いわむら城下町 路地カラ事業」の代表者に来ていただき、直接事業説明を聞き、その上で最終的な結論を出す。
- ・『こども塾事業』については城下町ホットいわむらでしっかり協議していただく。

##### ○地域間連携事業の申請

- ・恵南地区山城普及啓発による地域活性化事業

<事務局より概要説明>

- ・前回の会議で、岩村から本事業を地域間連携事業として申請することで承認を得たため、恵南の4地域に連携について依頼をかけた。現時点で山岡、明智、上矢作から賛同を得ている。主な事業は「山城ガイドブックの作成」と「御城印の作成」。

〈結果〉

- ・承認

## ■連絡・報告事項

### ◆「岩村城跡」等の看板設置について

〈事務局説明〉

- ・裏山の信号（両側）に「岩村城跡」の表示を入れる要望書の提出準備をしていたが、市観光交流課と恵那土木事務所の間で表示を変える方向で話が進んでいる。併せて一色の道路案内看板も変えてもらえる予定で進んでいる。登城口を示す案内看板は別途恵那土木事務所等関係機関と協議することになる。

### ◆岐阜県要望の結果について

〈事務局説明〉

- ・8月に岐阜県（恵那土木事務所）に要望した結果が届いたのでお伝えする。7つの要望のうち対応するが4つ、予算の状況を見据えながら対応するが2つ、×が一つという結果。×は飯羽間川の土砂撤去で、県が確認したところでは現時点での緊急性は低いとの見解。

### ◆太陽光発電所について

〈事務局説明〉

- ・飯羽間地区に計画されているメガソーラーはここ1か月くらい事業者の動きがない。地元では事業者に対する要望書を準備している。
- ・飯羽間地区で計画されている約1haの太陽光発電事業が撤回された。

### ◆新型コロナウイルスワクチンの接種について

〈事務局説明〉

- ・資料に基づき、現在の接種状況、ワクチン接種証明書（アプリ）、追加接種（3回目）について説明。2月から65歳以上の3回目接種が始まる予定。

### ◆令和3年度恵那市市民意識調査結果〈抜粋〉について

〈事務局説明〉

- ・無作為抽出の市民2500人を対象とした調査が実施され、この調査の中で自治会未加入に対する設問があるので、この部分を抜粋して報告する。岩村は

自治会未加入率が高く、地域の重要課題となっているので、よく目を通していただきたい。この資料は住み続けたい部会や自治連合会でも今後の対策の参考にする予定。

◆2021 ふるさと創生花火について

〈事務局説明〉

- ・12/25 に今年延期となっていたふるさと創生花火が開催される。クリスマスに行われる関係で富田のイルミネーションとコラボ企画となる。YouTubeでのライブ配信や1月にはアミックスでの放送も予定されているのでぜひご覧いただきたい。

◆全国山城サミット恵那大会について

〈事務局説明〉

- ・別紙チラシにより来年10月に開催される山城サミットを紹介。このチラシには岩村城や城下町の写真が使われているが、岩村が山城の中心になるため、地域の盛り上がりが必要となる。
- ・全国山城サミットに合わせて飯羽間城の磨き上げを考えている。先日飯羽間城のある1区の総会で住民の皆さんの声を聞いたが、皆さん前向きな考え方で、飯羽間城跡の保存・整備に対して地元も協力していただける状況となった。

★次回の会議

1月11日（火）19時30分 岩村コミセン大会議室

【21時00分閉会】